

第73回西播高等学校剣道大会 兼 第74回兵庫県高等学校剣道大会予選大会要項

- 1 日 時 令和8年5月 9日(土) 男子個人試合 開 場 8時20分
女子団体試合 受 付 8時50分
開会式 9時30分
5月10日(日) 女子個人試合 開 場 8時20分
男子団体試合 受 付 8時50分
開会式 9時30分
- 2 会 場 兵庫県立武道館 第1道場
〒670-0971 兵庫県姫路市西延末504番地 TEL (079) 292-8210
- 3 チーム編成 団体試合は選手5名、補欠2名で全・定の混成は認めない。3名以上で参加を認める。出場資格等は高体連剣道部の申し合わせによる。
※選手が5人に満たない場合の申し込みは「大会における注意事項」の通りとする。
個人試合は男子・女子とも各校4名まで出場できる。
但し、県大会の出場権を獲得しているものは出場できない。(県新人ベスト4)
- 4 抽選方法 高体連西播支部剣道部の申し合わせにより抽選をする。
- 5 試合・審判規則 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」並びに、全国高等学校体育連盟剣道部「申し合わせ事項」・兵庫県高等学校体育連盟剣道部「申し合わせ事項」
- 6 試合時間 団体試合：男女とも4分、勝敗の決しない場合は引き分けとする。
個人試合：男女とも4分、勝敗の決するまで3分ごとの延長を行う。
- 7 勝敗の決定 団体試合は勝者数法による。勝者数、得本数とも同数の時は、代表者戦を行う。代表者戦は個人試合に準ずる。(但し、一本勝負。試合時間は上記6の個人試合時間に準ずる。)
- 8 選手の交代 選手の交代は補欠を起用することができるが、試合の始まるまでに審判主任に申し出ること。但し、一度交代した選手の再出場はできない。
- 9 表 彰 団体、個人とも男子、女子の3位までを表彰する。(3位決定戦は行わない)
- 10 参加料 1チーム6,000円とする。(男女別)
個人試合のみの参加は1名1,000円とする。納入後の返金はしない。
※県大会参加費は今年度から振込みになります。
大会参加費・・・1チーム：12,000円(男女別) 個人試合のみ：3,000円
- 11 申込締切 令和8年 4月30日(木) 午後5時必着(梶原 洋次〔姫路別所〕 宛)
*不参加の場合も必ず、県立姫路別所高校 梶原 宛に電子メールでその旨をお知らせください。
※申し込み締め切り以降の選手変更、出場順序の変更及び追加登録は認めない。

12 申込先

兵庫県立姫路別所高等学校 梶原 洋次 宛（電子メールにて）
〒671-0223 兵庫県姫路市別所町303-1

メールアドレス
mcqy6365@hyogo-c.ed.jp

13 申込方法

必ずメールで申し込んでください。
書式は、兵庫県高体連剣道部のホームページからダウンロードして下さい。

兵庫県高体連剣道部 ホームページ
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~koutairen/kendo/kendo.htm>

14 抽 選

令和8年5月8日（金）県立姫路東高等学校において委員により実施します。

15 一般的注意

- ①開会式（開始式）、閉会式に引率責任者及び選手は原則参加する。
- ②貴重品は各校で責任を持って管理をする。
- ③更衣は決められた場所で行う。
- ④参加については選手の健康面を最優先とし、当日の応急処置は当該校（者）の負担とする。
- ⑤高体連の申し合わせ事項を熟知して出場する。
- ⑥大会期間中に県大会の受付を行う。（※参加費は今年度より各校振込みです）
- ⑦オーダー表、赤・白の目印は各校で準備する。
なお、オーダー表は下記及び「大会における注意事項」を参考に作成する。
- ⑧個人情報については大会運営のためにのみ利用する。
同意が得られない生徒については委員長に連絡をすること。
- ⑨非常変災、その他急迫の事情による大会の実施・延期等については、兵庫県高体連剣道部ホームページの緊急連絡板に掲載する。
- ⑩大会における写真及びビデオ撮影については、個人情報の観点から、撮影画像や映像及びこれらのデータを不特定多数の者に頒布、またはインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりすることを禁止する。

○オーダー表の作成方法

模 造 紙	※左より校名に続いて、先鋒、次鋒と 順に選手の苗字を書く。 (例)					
	東 洋 大 姫 路	柳	柳	清	坂	柿
		田	田	章 瀬	本	本

模造紙を1/4に切り、その
1枚を使用する。
「先」「次」等は記載しない。
同姓の生徒は右下に名前の
1文字を記載する。

大会における注意事項

1 受付

- ①両日ともに確実に行う。
- ②オーダー表を当該試合場に提出する。
- ③選手変更は**試合開始までに**当該試合場の審判主任に申し出る。

2 開閉会式

- ①例年通り実施する。
- ②観覧席応援者もその場所で式に参加する。

3 試合

- ①選手は、試合前後の所作・礼法・着装を正しく行う。
 - ・面紐の長さ：結び目より40cm以内（使用により伸びることがあるため再度確認）
 - ・竹刀：検量は実施しない。
長さ：117cm以内（男女共通） 重さ：男子480g以上、女子420g以上
先端部最小直径：男子26mm以上、女子25mm以上
ちくとう最小直径：男子21mm以上、女子20mm以上
※あわせ竹刀は危険のため使用を控える。
- ②応援は拍手のみとし、声援及び時間等の合図を送ってはならない。

4 館内外

- ①盗難・紛失及び汚破損について、大会本部は責任を負いかねる。特に貴重品の管理は各校各人で責任を持って管理をする。（盗難・紛失が多発しています）
- ②素足では外に出ない。またロビーや廊下での素振りは厳禁。
- ③飲食は観覧席で行う。（選手の水分補給についてはこの限りではない）※本部の指示に従う。
- ④ゴミは全て持ち帰る。
- ⑤剣道具等は原則持ち帰る。（おいて帰る場合は本部の指示に従う）
- ⑥フラッシュを利用したの撮影、また光を発する機器の使用は禁止する。撮影は**観覧席でのみ**可能。
- ⑦館内のコンセントの使用は禁止する。（撮影等はバッテリーを使用する）

5 その他

- ①大会要項及び「高体連剣道部申し合わせ事項」「注意事項」「警報発令等緊急時の措置について」を熟読し、その内容を**選手・生徒・応援者に周知徹底**する。
- ②団体試合において**5人に満たない場合は、大将から右詰で記入**する。（申込書・オーダー表）
※3名→中堅・副将・大将 4名→次鋒・中堅・副将・大将
- ③申し込みは説明を熟読した上で、期日を守り確実にを行う。

自チームに欠員がいる場合のオーダー表の作成方法

（例1）4人チームの場合（先鋒の部分は斜線にし、後ろ詰めで表記する）

先	次	中	副	大
	竹内	八尋	田中	森本

（例2）3人チームの場合（先鋒・次鋒の部分は斜線にし、後ろ詰めで表記する）

先	次	中	副	大
		八尋	田中	森本

3・4人校との試合における試合順届について

例) 相手チームが3人の場合

- 「3・4人校との試合における試合順届」を審判主任から受け取る。
- 「3・4人校との試合における試合順届」を試合までに審判主任に提出する。
(県総体では前の試合の中堅まで)
※監督が審判や試合が連続している場合は速やかに提出する。
- 見本は先鋒・次鋒・中堅が試合に出場し、副将・大将が出場しない場合の例。

注意点

- ・選手の並びの変更は認めない。
- ・団体の相互の礼は、不戦勝ちの選手も整列をする。
(整列時、不戦勝ちの選手+対戦する選手2名は面をつける) 最大4名
※下の見本→ 並び順：副将 大将 先鋒 次鋒 中堅 (赤字が試合に出場)
(面をつける選手→副将 大将 先鋒 次鋒)

3, 4人校との試合における試合順届						
	第	<input type="text"/>	試合場	第	<input type="text"/>	試合目
学校名 (正式略称)		<input type="text"/>				
対戦相手校名		<input type="text"/>				
対戦校の選手数		3名・4名				
学校名 (正式略称)	1	2	3	4	5	
元の位置						
※先鋒：1 次鋒：2 中堅：3 副将：4 大将：5						
顧問監督署名		<input type="text"/>				

3, 4人校との試合における試合順届 (記入例)						
	第	1	試合場	第	5	試合目
学校名 (正式略称)		○○○				
対戦相手校名		△△△				
対戦校の選手数		3名・4名				
学校名 (正式略称)	1	2	3	4	5	
○ ○ ○	田 中	森 本	河 内	竹 内	八 尋	
元の位置	4	5	1	2	3	
※先鋒：1 次鋒：2 中堅：3 副将：4 大将：5						
顧問監督署名		山福 武之				

「3・4人校との試合における試合順届」は、審判主任席においています